

# 全日本大会の開催と決定に関するガイドライン

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

## 1. 背景

- ・ 新法人への移行に伴う定款等、諸規程の改定があり、ブロックの見直しがある。
- ・ 全日本大会（ロング、リレー）については、主催大会のあり方（「主催大会の位置づけと開催ブロックについて」）により計画的に運用されているが、あらたに全日本大会（ミドル、スプリント）が実施されるようになった<sup>注)</sup>。
- ・ 全日本大会（ミドル、スプリント）については、現在、日本選手権実施基準の3-(3)を適用し、正会員より申請のあった公認大会のエリートクラスを選手権クラスとして実施している。
- ・ 全日本大会（ロング）は、従来の年度末（3月）開催から諸事情より年度を越えて4～5月に開催されるケースがある。一方、全日本大会（ミドル、スプリント）の開催時期および開催地域は一定ではない。
- ・ 正会員においては、全日本大会（ミドル、スプリント）の開催希望があっても、JOAとしての計画性がないため多かれ少なかれ混乱を生じている。

## 2. 目的

- ・ 全日本大会の決定については、「日本オリエンテーリング競技規則」、「公認大会開催に関する規則」、「日本オリエンテーリング選手権（個人競技、リレー競技）実施基準」、「コントローラに関する細則」等を適用するが、その解釈、運用およびこれら規則類にない事項について明文化する。
- ・ 全日本大会（ロング、リレー）については、ブロックの変更に伴い、見直しを行う。
- ・ 全日本大会（ミドル、スプリント）については、当面、申請のある公認大会の中から選定することとし、開催時期、募集期間等のガイドラインを策定する。
- ・ 全日本大会のうち、ロングについて IOF WRE（世界ランキング大会）に申請することとし、その体制を確立する。ロング以外については、状況に応じて検討する。

## 3. 対象大会

- ・ ロング、ミドル、スプリントおよびリレーの日本選手権を決める全日本大会を対象とする。

## 4. 開催形態

- ・ ブロック持回りおよび国体開催都道府県（正会員）を原則とする全日本大会（ロング、リレー）については、JOA 主催とし、当該正会員に主管を委ねる。ここでい

<sup>注)</sup> ロング：ロングディスタンス競技、ミドル：ミドルディスタンス競技、スプリント：スプリント競技、リレー：リレー競技 の意。

う正会員には、ブロックないしはそれに準ずる体制（実行委員会など）を含む。

- ・ 全日本大会（ミドル、スプリント）は、当面、日本選手権実施基準の 3-(3)項を適用し、指定された公認大会の選手権クラスを JOA と主催者との共催とする。選手権クラス以外は公認大会の申請者が主催者となる。

## 5. 開催時期

- ・ 全日本大会は、全日本ロング大会を除き、原則として毎年度の開催とする。
- ・ 全日本ロング大会は、毎年の開催とし、開催時期は年度末または次年度始（3月～5月）とすることが望ましい。ただし、参加資格、記録等は年度をまたがった場合も前年度の大会として扱う。大会名は「第〇〇回全日本オリエンテーリング大会（ロングディスタンス競技）」とし、年度および開催年は記載しない。
- ・ 全日本ミドル大会の開催時期は特に定めないが、前年度および次年度の大会に対し少なくとも6か月以上を空けるものとする。開催年度をまたがることはない。
- ・ 全日本スプリント大会の開催時期は特に定めないが、前年度および次年度の大会に対し少なくとも6か月以上を空けるものとする。開催年度をまたがることはない。
- ・ 全日本リレー大会の開催時期は、年度下半期（10月～3月）とすることが望ましい。

## 6. 決定方法

- ・ 全日本大会（ロング、リレー）については、少なくともその概要（開催都道府県、開催月、大会コントローラ）を前々年度末に、また開催場所および開催日を前年度末までに決定、公示する。業務執行理事（技術担当）または競技担当理事、当該正会員または当該ブロック担当理事、JOA 事務局間で調整、決定する。
- ・ 全日本大会（ミドル、スプリント）については、申請期限を（1次）前々年度9月末および（2次）前々年度3月末として募集し、競技委員会において開催条件（時期、地域、運営体制等）を考慮して決定する。期限内に申請がない場合、その後の申請に基づいて都度、審議・決定する。
- ・ WRE 指定大会とする場合には、IOF への申請期限（9月末）を考慮し、少なくとも開催年（暦年）の前年8月末までに決定する。

## 7. 関連事項

### 7.1 全日本大会（ロング、リレー）の持ち回り制

- ・ 定款改定に伴うブロックの見直し、および最近の指導員、競技者など正会員の登録状況を踏まえて、「主催大会の位置づけと開催ブロックについて」（平成 19 年 12 月総務会承認、平成 21 年 5 月理事会確認）を見直し、以下のとおりとする。
- ・ 全日本ロング大会： ブロックの持ち回り制を原則とし、表 1 に示す 8 年周期とする。平成 24 年度から適用する。主管正会員の決定はブロックに委ねる。

表1 ブロック持ち回り制

| 開催年度*        | H19年度より適用<br>(従来) | H24年度より<br>(8年周期) |
|--------------|-------------------|-------------------|
| 第34回(平成19年度) | 近畿B               |                   |
| 第35回(平成20年度) | 関東甲信越B            |                   |
| 第36回(平成21年度) | 東海北陸B             |                   |
| 第37回(平成22年度) | 関東甲信越B            |                   |
| 第38回(平成23年度) | 中国四国B/九州B         |                   |
| 第39回(平成24年度) | 東海北陸B             | 北陸信越B             |
| 第40回(平成25年度) | 関東甲信越B            | 関東B               |
| 第41回(平成26年度) | 北海道東北B            | 北海道東北B            |
| 第42回(平成27年度) |                   | 東海B               |
| 第43回(平成28年度) |                   | 関東B               |
| 第44回(平成29年度) |                   | 近畿B               |
| 第45回(平成30年度) |                   | 関東B               |
| 第46回(平成31年度) |                   | 中国四国九州B           |
| 第47回(平成32年度) |                   | 以下2順目             |
| 第48回(平成33年度) |                   |                   |

\* 大会名に年度は用いないが、便宜的に表示している

- ・ 全日本リレー大会： 表2の国体開催の都道府県(正会員)を原則とする。開催が不可能な場合は、JOA事務局とブロック担当理事(必要に応じて理事会)とで協議する。

表2 国体開催地と全日本リレー大会開催地

| 開催年度         | 国体開催 | 全日本リレー大会 |
|--------------|------|----------|
| 第16回(平成19年度) | 秋田   | 石川       |
| 第17回(平成20年度) | 大分   | 三重       |
| 第18回(平成21年度) | 新潟   | 新潟       |
| 第19回(平成22年度) | 千葉   | 千葉       |
| 第20回(平成23年度) | 山口   | 長野       |
| 第21回(平成24年度) | 岐阜   | (長崎)     |
| 第22回(平成25年度) | 東京   |          |
| 第23回(平成26年度) | 長崎   |          |
| 第24回(平成27年度) | 和歌山  |          |
| 第25回(平成28年度) | 岩手   |          |
| 第26回(平成29年度) | 愛媛   |          |
| 第27回(平成30年度) | 福井   |          |
| 第28回(平成31年度) | 茨城   |          |
| 第29回(平成32年度) | 鹿児島  |          |
| 第30回(平成33年度) |      |          |

アンダーラインは国体開催に対応

## 7.2 WRE 指定

- ・ 当面、全日本ロング大会を IOF WRE 指定大会とする。この場合、WRE 対象クラスは M/W21E である。申請手続き等は JOA 事務局が行う。
- ・ 日本において開催される IOF 主催の大会（WOC、WG、AsOC、W-Cup など）および全日本大会以外の国際大会は WRE とする。
- ・ 全日本大会（ミドル、スプリント）は条件を満たせば、必要に応じて WRE として申請を考える。
- ・ 全日本大会（ロング）の WRE 名称については、5 項にかかわらず ”XXth Japan Orienteering Championships 20YY” と開催年の西暦を用いる。

## 7.3 大会コントローラの派遣

- ・ JOA は、全日本大会の開催が決定後、速やかに大会コントローラを指名する。
- ・ 大会コントローラは、コントローラを所管する競技委員会が立案し、JOA 事務局と主催者（主管者）と協議の上決定する。
- ・ 全日本大会の大会コントローラは、大会コントローラ補佐（アシスタントコントローラ）を指名してもよい。なお、コントローラ研鑽・育成の観点から大会コントローラ補佐を設けることを勧める。
- ・ WRE とする全日本大会（ロング）については、IOF EA を国内の EA 有資格者から指名する。この場合、全日本大会の大会コントローラを兼ねてもよい。

## 8. 業務分担および費用負担

- ・ 全日本大会の開催が決定後、JOA 事務局は主管者（ロング、リレー）または主催者（ミドル、スプリント）と業務分担および費用負担について協議する。
- ・ 全日本大会の大会コントローラおよび WRE のための EA 派遣費用は JOA が負担する。ただし、選手権クラスのみが対象となる全日本大会（ミドル、スプリント）の大会コントローラ費用は JOA と主催者との協議による。
- ・ 大会コントローラ補佐を設けた場合の大会コントローラ補佐にかかわる費用は JOA と主催者（主管者）との協議による。
- ・ 選手権クラスおよび全日本大会（ロング、リレー）の表彰は JOA が行う。その経費は JOA が負担する。

平成 24 年 3 月 20 日制定

平成 24 年 6 月 17 日 公益社団法人への移行に伴う修正

平成 25 年 1 月 12 日改正